夕刊 臺灣日日新報 第一万五千三百七十四號 (一)
昭和十七年十二月二十二日 (火曜日) 臺灣日日新報 (第二種)
(明治卅一年五月九日第三種郵便物認可)

日泰攻守同盟一周年

共同の敵米英を擊滅

帝都で記念祝賀大會

外相から寄せられた感謝の日泰同盟一周年に際しての大東亞戰に於ける日泰兩國の緊密なる協力ぶりを述べた「日泰攻守同盟一周年に際して」と題する文章は次の通りである

一、一昨二十日は日泰攻守同盟條約締結の一周年記念日であつた、この日泰兩國の間に結ばれた攻守同盟條約は、大東亞戰爭の勃發と共に日泰兩國の間に一層緊密なる協力關係を生み出し、この關係は日を追ふて益々強化されつゝあるのである

二、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

三、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

四、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

五、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

六、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

七、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

八、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

九、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

十、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

十一、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

十二、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

十三、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

十四、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

十五、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

十六、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

十七、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

十八、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

十九、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

二十、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

二十一、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

二十二、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

二十三、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

二十四、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

二十五、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

二十六、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

二十七、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

二十八、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

二十九、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

三十、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

三十一、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

三十二、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

三十三、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

三十四、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

三十五、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

三十六、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

三十七、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

三十八、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

三十九、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

四十、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

四十一、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

四十二、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

四十三、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

四十四、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

四十五、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

四十六、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

四十七、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

四十八、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

四十九、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

五十、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

五十一、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

五十二、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

五十三、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

五十四、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

五十五、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

五十六、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

五十七、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

五十八、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

五十九、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

六十、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

六十一、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

六十二、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

六十三、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

六十四、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

六十五、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

六十六、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

六十七、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

六十八、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

六十九、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

七十、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

七十一、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

七十二、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

七十三、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

七十四、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

七十五、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

七十六、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

七十七、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

七十八、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

七十九、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

八十、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

八十一、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

八十二、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

八十三、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

八十四、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

八十五、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

八十六、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

八十七、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

八十八、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

八十九、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

九十、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

九十一、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

九十二、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

九十三、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

九十四、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

九十五、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

九十六、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

九十七、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

九十八、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

九十九、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

百、日泰兩國は、この條約の下に、それぞれ自國の安全を期するばかりでなく、共同の敵米英を擊滅するために、全力を擧げて協力することを誓つたのであつて、この目的を達成するまでは、決して戰ひの手を緩めないことを固く約束したのである

日泰固き盟邦の誓ひ

泰首都盤谷の記念式典

【バンコック二十二日發同盟】日泰攻守同盟の締結に關聯して大東亞戰爭の勃發と共に日泰兩國の間に結ばれた攻守同盟條約は、一昨二十日を以て滿一周年を迎へたが、この日泰兩國の緊密なる協力關係が完全に確立されたことについてはさきに日本から發表された通りであるが、この間日本軍はアンダマン、ビルマ、マレー、スマトラ、ジャワ、ボルネオ、セレベス、ニューギニア、ビスマルク諸島、ソロモン群島、ウエーキ島、グアム島

大神宮に征戰完遂祈願

廿四日 島内各神社一齊に嚴修

血と肉でコ島覆滅

殊勳の佐藤部隊を山本中尉語る

方面感謝日式典擧行

廿五日・方面事業従事者を表彰

暴戻敵空軍の盲爆

ラングーン市民憤激の極

哨員は一億の耳、目

國土の安危を一身に擔ふ

御誕辰の佳き日

廿三日各家庭は國旗掲揚

皇太子殿下

明るい銃後建設へ

一齊に防犯週間實施

陸海軍部に感謝獻金

新井郡民一同の赤誠

中村高等法院檢察官長新竹へ

各地で講演會

學生時局講演大會を開催

廿日 市公會堂に

島都出身志願兵

けふ市長を訪問

航空協會新竹州支部結成式

年内に擧行豫定

ゆけ譽の志願兵

新竹

花蓮港

尖兵

流星

肺患者に…

十二國志

(赤壁の巻)

吉川英治作

矢野橘村畫

結核患者に…

眞劍な努力の集積

ベナス
シンアリピアフルスの能性商
双球菌性
化膿症
急慢性鼻疾
肺炎・中耳炎
扁桃腺炎
各起炎菌に對し特異の菌克服力を發揮し、短期治療の目的を達成せしむ
無料送呈
藤堂山徳林寺

ナショナル
良質電球で節電に協力
明るい暖い
松下電器産業株式會社

積極的强壯劑
ラクビ
"バタフ"
心身改善の推進力
従來の榮養强壯劑は第二次的なるに反し、ビクラは積極的に身體の衰弱狀態に活力を與へ各機能を根本から積極的に活動させる綜合作用をもつ理想的な强壯劑です。
ビクにはアルジオン、興、コフエキス、ストリヒノス、マンガン等の榮養强壯劑が調和的に配合され、是等の成分が調和的に作用し强壯に三拍子揃ひ榮養を發揮します
(適應症)
心臟の疾患・腎臟疾患・榮養不良・胃腸病後の衰弱・肺結核・肺炎・肺浸潤・肺門淋巴腺炎・神經衰弱・慢性消化不良・胃下垂・胃擴張・慢性便秘・痔疾・貧血・月經不順・更年期の不快症狀
(販賣元)
岡山市代官町
株式會社 林源十郎商店
(支店)
京城・釜山・平壤・大邱・光州・羅南・咸興・新義州・元山・清津・大連・奉天・撫順・長春・小倉・門司・下關・若松・戸畑・八幡・福岡・久留米・佐賀・長崎・熊本・鹿兒島・宮崎・延岡・都城・大分・別府・中津・佐伯・高知・松山・今治・宇和島・德島・高松・岡山・倉敷・福山・尾道・廣島・呉・岩國・下關・宇部・小野田・山口・萩・浜田・松江・米子・鳥取・姫路・神戸・大阪・和歌山・津・名古屋・豊橋・岡崎・静岡・沼津・甲府・八王子・横濱・東京・水戸・宇都宮・前橋・高崎・熊谷・川越・浦和・千葉・銚子・佐倉・館山・木更津・大多喜・勝浦・小湊・鴨川・那古・館山・北條・富津・保田・勝山・金谷・浜金谷・船橋・市川・松戸・我孫子・取手・土浦・石岡・水戸・日立・平・磐城・仙臺・石巻・古川・一ノ關・盛岡・宮古・釜石・大船渡・秋田・横手・能代・青森・弘前・五所川原・八戸・函館・小樽・旭川・札幌・室蘭・苫小牧・帯廣・釧路・根室・網走・北見・留萌・稚内・名寄・士別・滝川・岩見澤・夕張・北見・留萌・稚内・名寄・士別・滝川・岩見澤・夕張・

新發賣
外用
ピロエキ
液
劇痛ドミアンホフルス製劑
に急疾傷外
刺戟と副作用無く効果迅速
急所的外用皮膚に吸收直接患部に作用し其の強力性に依つて強烈の鎭痛と一〇〇萬倍に達し其の治療力を發揮して一日も早く治癒の喜びを與へる
(使用上の注意)
使用に際しては患部の汚物を除去し清潔にして使用すること
使用後は必ず手を洗ふこと
使用後は必ず手を洗ふこと
(販賣元)
株式會社 大阪市東區北久太郎町三丁目
(支店)
東京・名古屋・福岡・札幌・仙臺・廣島・金澤・高松・熊本・岡山・靜岡・新潟・前橋・水戸・富山・福井・甲府・長野・岐阜・和歌山・津・奈良・京都・神戸・姫路・鳥取・松江・岡山・倉敷・福山・尾道・廣島・呉・岩國・下關・宇部・小野田・山口・萩・浜田・松江・米子・鳥取・姫路・神戸・大阪・和歌山・津・名古屋・豊橋・岡崎・静岡・沼津・甲府・八王子・横濱・東京・水戸・宇都宮・前橋・高崎・熊谷・川越・浦和・千葉・銚子・佐倉・館山・木更津・大多喜・勝浦・小湊・鴨川・那古・館山・北條・富津・保田・勝山・金谷・浜金谷・船橋・市川・松戸・我孫子・取手・土浦・石岡・水戸・日立・平・磐城・仙臺・石巻・古川・一ノ關・盛岡・宮古・釜石・大船渡・秋田・横手・能代・青森・弘前・五所川原・八戸・函館・小樽・旭川・札幌・室蘭・苫小牧・帯廣・釧路・根室・網走・北見・留萌・稚内・名寄・士別・滝川・岩見澤・夕張・

臺灣日日新報 昭和十七年十二月二十三日（火曜日） 第一万五千三百七十四號 A（二）
（第二種郵便物認可）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）
臺灣新民報 本日夕刊共六頁

日泰文化協定成立

文化交流の基礎確立

效力即日發生 協定の全文を發表

【東京發】日泰文化協定の成立に關し、首相、タイ國との間には同協定に基き、昭和十七年度より三箇年間に情報局發表（十二月二十日午後三時）

【東京發】日泰文化協定は二十二日午後三時十分の如く發表した

一、日本國政府及タイ國政府は兩國間の文化關係を一層緊密ならしめ且つ兩國間の文化交流を促進することを希望し、茲に左の如く協定せり

第一條 兩國政府は兩國間の文化關係の增進に關し相互に協力すべし

第二條 兩國政府は兩國間の文化關係の增進に資するため左の事項を實施すべし

一、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する團體及個人の交換

二、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する出版物の交換

三、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する情報の交換

四、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する研究所及學校の設立

五、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する會議の開催

六、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する展覽會の開催

七、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する講演會の開催

八、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する放送

九、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する映畫の製作及交換

十、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する相互援助

第三條 兩國政府は兩國間の文化關係の增進及本協定の實施に關し相互に緊密なる連絡を保つべし

第四條 兩國政府は兩國間の文化關係の增進及本協定の實施に關し必要と認むるときは隨時協議すべし

第五條 兩國政府は兩國間の文化關係の增進及本協定の實施に關し必要と認むるときは隨時協議すべし

第六條 兩國政府は兩國間の文化關係の增進及本協定の實施に關し必要と認むるときは隨時協議すべし

第七條 兩國政府は兩國間の文化關係の增進及本協定の實施に關し必要と認むるときは隨時協議すべし

第八條 兩國政府は兩國間の文化關係の增進及本協定の實施に關し必要と認むるときは隨時協議すべし

第九條 兩國政府は兩國間の文化關係の增進及本協定の實施に關し必要と認むるときは隨時協議すべし

第十條 兩國政府は兩國間の文化關係の增進及本協定の實施に關し必要と認むるときは隨時協議すべし

第十一條 兩國政府は兩國間の文化關係の增進及本協定の實施に關し必要と認むるときは隨時協議すべし

第十二條 兩國政府は兩國間の文化關係の增進及本協定の實施に關し必要と認むるときは隨時協議すべし

第十三條 兩國政府は兩國間の文化關係の增進及本協定の實施に關し必要と認むるときは隨時協議すべし

第十四條 本協定は批准せらるべくバンコックにおいて交換せらるべし、本協定は批准交換の日から五箇年間效力を有すべく且右期間滿了の一年前に兩國政府の一方が他方に對し本協定を終了させる意思を通告せざるときは更に一年間效力を有すべく且その後も同樣とす

以上證據として各全權委員は本協定に署名調印せり

昭和十七年十二月二十八日即ち西暦二千八百五十年十二月二十八日バンコックに於て日本語タイ語及英語を以て本書二通を作成す

日本國全權委員 外務大臣 谷 正之

タイ國全權委員 タイ國駐箚日本國特命全權公使 クン・チャイヤナム

右の全權委員は互ひにその全權委任狀を示しこれが良好妥當なるを認めたる後、左の諸條を協定せり

第一條 締約國は兩國間の文化關係の增進を圖るため兩國の文化團體及個人の交換を奬勵すべし

第二條 締約國は兩國間の文化關係の增進に資するため左の事項を實施すべし

一、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する出版物の交換

二、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する情報の交換

三、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する研究所及學校の設立

四、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する會議の開催

五、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する展覽會の開催

六、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する講演會の開催

七、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する放送

八、兩國間の學術、藝術、教育及宗教に關する映畫の製作及交換

九

社說

恐ろしいのはお札の洪水

現金は持たず貯金すること

この十二月は、一年中の決算月であるため自由に現金の出し入れも多く、殊に官吏その他の俸給者は賞與が出され、更に官吏その他には「國防時局特別稅」が差引かれるし、その上、從來の家族手當の三圓が五圓に增額されて各月からこれを差引かれるとのことであるから、かなり多額のお札が手許に殘るわけである。

現在の經濟界の實狀は一部の人を除いては、どこもかしこもお札の洪水時代といつてもよい程であるから、この十二月は各人とも特に注意して、餘計なお札は持たないやうにしなければならないと思ふ。

國民一般も、この十二月は一ヶ月間に公課その他の負擔と、第二、第三の增稅による增加負擔とを合せると、從來の負擔に比べて相當の負擔增加となつて三圓五十錢位の支出を覺悟しなければならない。そのためには、賞與は少くとも半額、又半額は收入の多い人は銀行に貯金するやうにして、現金の出し入れを少くし、殊に官吏その他俸給者は、從來の家族手當の增額分だけは、これを貯金にまわす

全島民赤誠獻金
十五萬八千餘圓
僅か二週間にこの巨額
本月五日以後
募集部令部取扱總額

海軍の戰果に感激
獻金九萬七千餘圓
海軍武官府 本月上半期取扱總額

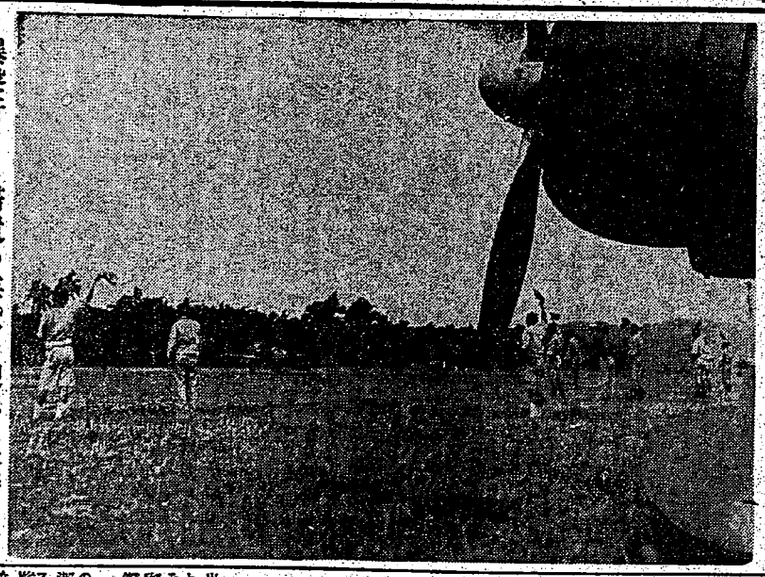
國民殘らず玄米食へ
翼賛會 普及運動に支部動員

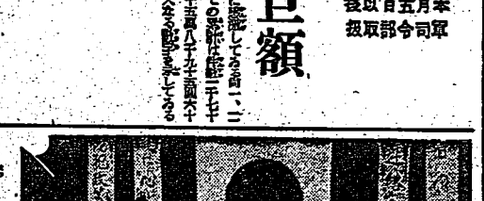
安南現地人放談會 (中)
世界最強の皇軍
日本によつて佛印は安定した

青年層の奮起促進
志願兵制徹底に若櫻も一役

國民貯蓄は成績不良
七ヶ月で四割四分六厘の成績

志願兵を目標に
青年の皇民錬成


爆撃行より歸還の海鷲を迎へる整備員
海軍省提供（寫眞週報第七二號）


あつこそ切り札と敵時機を待つ陸軍の新鋭戰車
陸軍省提供

体位向上
元氣で勝つ
ますらを

今ぞ「國家の干城」へ

弱冠、青年團分團を統率の田中君

團長に續けと勇む團員

【新竹州電】新竹州竹東郡竹東街三二〇名の壯丁を以て編成する竹東青年團分團は、十六日午前八時から竹東國民學校講堂で、手塚ひでみ田中團長以下團員一同參集、團旗授與式を擧行、コンクリートボール團に關する中、嬉かしき思出多き母校に最後の訣別をなし、一路高砂族の住む山地へ入つて行く團員の意氣は、實に壯烈そのものであつた、團長田中君は「あたり前の事をしたゞけですよ」と謙遜するが、團員の一人一人が、團長田中君の下に一致團結して、山地の開發に、治安の確保に、邁進する事は、疑ひを容れない、

【竹東電】竹東青年團分團團長田中君は、竹東街の出身で、年齢二十二歳、竹東國民學校を卒業後、臺北工業學校に學び、現在臺灣電力會社に勤務してゐる